

(報告事項)

1. 2023 年度事業計画の件

2023年度事業計画書

自 2023 年4月 1 日
至 2024 年3月31日

■はじめに

1. 環境認識

2020 年以降の新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、コロナ禍以前から兆しの見えた行動様式や価値観の変化が大きく進展している。

課題解決の指針、価値観の変化の象徴として、SDGs という考え方が急速に発展し、日本でも、「誰一人取り残されない社会の実現」に向けた SDGs への取組みが、国、自治体、企業、各種団体などで活発になっている。その中で、「経済的豊かさ」だけではなく、「心の豊かさ」「心を整えること」へのニーズをとらえたビジネスも伸長しており、「モノの豊かさによる経済的繁栄」から「心の豊かさによる共存・共栄(Well-being)」に価値観が変化している。単純な経済的成長ではなく、持続可能性・社会との調和・自然との共存・「ひと」重視といった姿勢・取組みが価値観の中心となっている。

2. 神戸経済同友会の役割

私たち経済人は、新たな技術・製品・サービスを提供し、豊かな社会の実現に貢献するとともに、成長の過程で生じた様々な課題に、不断の努力をもって解決策を見出してきた。

そして、現在、新たに大きなパラダイムシフトに我々は直面している。

それは、すなわち、ひたすらに経済的成長を求めた「モノの豊かさによる経済的繁栄」から、「心の豊かさによる共存・共栄(Well-being)」という価値観の変化であり、企業を含めた社会全体が新たな解決策を見出すことを求められている。

企業が本業を通じて地域や環境課題の解決に取り組み、社会との共存・共栄を目指す中で、従業員が地域・環境への貢献を通じて存在意義と生きる意欲を見出すという好循環を生み出すことが、私たち経済人の使命であると考えている。企業が社会と共に共存・共栄するための指針が SDGs であり、根底にある理念は「誰も取り残されない」ことである。「誰も取り残されない」ためには様々な多様性を尊重し、互いの良さを活かし、高めあい、新たな価値を創造していくこと(Diversity & Inclusion)が重要であると考えている。

神戸経済同友会では、「持続可能な地域社会」への“羅針盤”として、SDGs に着目。2021 年に、官民連携での SDGs 推進体制構築に向けた第一歩として、「SDGs を活かした地域創生」を提言した。

また、“実践ステージの深化の機会”と位置付けた 2022 年は、「ひょうご SDGs Hub」を設立し、「『わたしから』アクション共同宣言」を兵庫県と実施。更には「SDGs 公民共創プロジェクト」をスタートするに至った。そして、更なる深化に向けた具体的な行動指針となるよう、2022 年度の神戸経済同友会の兵庫県・神戸市への提言では、「SDGs で紡ぐ『HYOGO-no-MIRAI』～地域一体で織り成す新たな調和の創造～」をテーマとし、“TEAM HYOGO・ALL HYOGO”、“しごと・ひと・まち・みらい”づくりについて取りまとめ、次のステージへの道筋を示した。

これら、2 年間の提言、取組みを踏まえ、2023 年度の活動については、“Diversity & Inclusion”をキーワードとして兵庫を躍動させることを目標に、更に取組みを深化させる。

■2023 年度活動方針

2023 年スローガン

Diversity & inclusion で兵庫を躍動させる！

1. 活動の背景

兵庫県は、出生率の低迷・少子高齢化の進行・若者の流出、人・街の高齢化、地場産業の沈下・後継者不足、経済規模の縮小などの課題に直面している。

この課題の解決には、兵庫県のもつ魅力的な社会、産業、技術の“多様性”が鍵になると見える。兵庫県には、個性豊かな五国に根付いた固有の文化があり、豊かな自然と都市機能が調和している。また、一次産業から三次産業まで幅広く多彩な産業があり、日本有数の工業地帯・港湾機能がある。さらに、充実した学習・研究機関が存在し、最先端技術が集積している。このような兵庫県の強み(地域・文化・人・産業などの多様性)を軸に、“Diversity & Inclusion”の視点でこれまでの取組みを深化させていくことが、課題解決につながると思料する。

多様な地域、文化、人、産業の知識、発想、目線、労働力を活用し、「多様な産業の底力の発揮・革新・成長」、「地域等の多様性のコラボレーションによる価値創造」、「多様な人材の活躍による労働人口の確保」、「多様性を活かした行きたい街・住みたい街づくり」をすることで、兵庫の Well-being、つまり、『行きたい・働きたい・住みたい ひょうご』、『だれもが活かされる ひょうご』、『こころが豊かになる ひょうご』を目指していく。

2. 基本方針

兵庫県で、今後予定される、神戸空港国際化、国際イベント（大阪・関西万博・神戸パラ陸上など）に向けた動きを機に、Diversity & Inclusion の切り口から地域創生策を深化させていく。

(1) Diversity & Inclusion による好循環創出・地域創生

企業などコミュニティ内での Diversity & Inclusion の効果（※1）が、コミュニティからステークホルダーや地域へも波及し、ミラー効果によりコミュニティでの Diversity & Inclusion 活動も更に活性化していくという好循環の創出を図る。

（※1）企業における Diversity & Inclusion の効果

- ・ イノベーションの創出が期待できる
- ・ 当事者意識が強くなり、労働意欲が高まる
- ・ 個々のスキルアップにつながる
- ・ 多様性を尊重する風土・文化により信頼関係を構築できる
- ・ 従業員の定着率に貢献する

(2) “ひょうご”の Diversity & Inclusion のアプローチ

Diversity&Inclusion のアプローチ（※2）を経て、“ひょうご”の地域・文化・人・産業など様々な多様性を尊重し、それらの“掛け算”により、互いの良さを活かし、高め合い、新たな価値を創造していく手法を模索していく。

（※2）Diversity&Inclusion のアプローチ

- ① 組合せを考える
- ② 互いを知る（学びと交流の場）
- ③ 互いを認める（アンコンシャスバイアス克服）
- ④ 互いに足りないものを確認（新たな発想を生む議論）
- ⑤ 価値を高めるための共創（計画と実行のための仕組みの模索）

一例を挙げるならば、「外国人」×「伝統工芸」という組み合わせにより、以下の様な掛け算が期待できる。

- ① 外国人と伝統工芸という組み合わせを考える
- ② 外国人留学生に伝統工芸の体験ツアーなど学びと交流の場を設ける
- ③ 互いを認める（伝統工芸の「匠の技」と、外国人の「新たな発想」）

- ④ 互いに足りないものを確認(技術&経験、自由な発想など)
- ⑤ 伝統工芸の匠の技術を用いて、新たな伝統工芸を生み出し、外国人による雇用創出(伝統工芸の後継ぎ創出)を図る

大阪・関西万博をはじめ、開催予定の大型イベントを好機として、兵庫県内外の人々に、“Well-being ひょうご”を強くアピールするため、ALL HYOGO で深化に取り組む。

■運営方針

1. 学びと交流

会員個々人が企業、業界の枠を超えて、お互いをリスペクトし、未来を見据えながら自由闊達に議論し、相互成長を実感できるような運営を行う。

また With コロナ、After コロナに社会情勢が転換していく中、大阪・関西万博など広域にわたる重要課題が控えていることに加え、神戸空港国際化に向けて具体的な取組みを進めると段階に入ることを踏まえ、他地域の経済同友会等との交流を一層深めていく。

2. 各委員会・部会の役割

- ・各委員会・部会は、22年度提言を踏まえつつ、Diversity & Inclusion の視点を各々の組織活動の中に取り込み、その中の“気付き”を提言特別委員会にフィードバックする。
- ・様々な視点を活かすため、委員会・部会間の相互コミュニケーションの機会も活性化する。

3. 提言策定へのアプローチ

- ・提言特別委員会は、各委員会・部会の活動内容も踏まえ、神戸経済同友会を代表して2023年度の提言を兵庫県・神戸市に行う。
- ・提言特別委員会は、各委員会・部会の活動において生じた“気付き”を集約し、提言特別委員会の提言活動に反映する。
- ・兵庫県・神戸市とは、適宜連絡会を設け、前広に提言の方向性の提示・共有を行う。

4. グローバル人材とのコミュニケーション

「神戸・兵庫グローバル人材コミュニケーションチーム」を設置し、域内在住の海外出身者(就労者・学生)などのグローバル人材と各種コミュニティとの交流機会の提案・企画・情報提供を行う。

< 委員会・部会活動 >

各委員会は、これまでの活動で認識している研究・提言すべき課題のほか、今年度の活動方針に沿った課題も研究対象に加える。また、全委員会が一堂に会して1年間の活動報告を行う「2023年度 神戸経済同友会フォーラム」を開催(2024年2月下旬を予定)することで、情報の共有を図っていく。

< 各地経済同友会との会議・懇談会 >

- ① 第35回 全国経済同友会セミナー 長崎大会 (4月13日・14日 長崎開催)
[全国44経済同友会参加]
- ② 第120回 西日本経済同友会会員合同懇談会 (11月2日・3日 徳島開催)
[西日本18地区経済同友会参加]
- ③ 第14回 日本海沿岸地域経済同友会代表幹事サミット
[日本海に面した14地区経済同友会参加] (9月21日・22日 金沢開催)

< 会員相互の懇談会 >

会員が相互に啓発し合い、気楽に親交を深めることを目的とし、委員会・部会の終了後にも懇談する場を設定するなど、機会を増やして活性化につなげる。

< その他 >

県下主要経済団体、他地域経済団体他との連携により、必要に応じ講演会、研究会などの事業を行う。また、関西広域連合等の活動状況を研究し、広域的な視野を持った事業を行う。

2. 活動組織要綱

一般社団法人の理事会設置法人として「2022年度活動方針」に基づき、次の活動組織を編成し、会務の計画・運営ならびに調査研究活動の推進を図る。

< 会務の執行組織 >

(1) 理事会

一般社団法人定款に定められた会務の審議、決定にあたる。

(2) 常任幹事会

理事会に先立って主要事項を審議、協議し、参考意見として理事会に提出する。

原則、毎月第2金曜日に開催する。(8月は休会)

(3) 幹事会

常任幹事会から諮問された事項について審議、協議し、参考意見として常任幹事会に提出する。原則、常任幹事会に合わせて、「常任幹事会および幹事会」として開催する。

< 調査研究組織及び活動 >

(常設委員会)

会員による自由な討議と調査研究を行い、各自の識見向上を図り、企業経営の指針を提供する。政策の実現及び地域活性化のため、関係者や他団体等との連携及び協力を行う。

(1) 総務委員会

① 同友会活動のタイムリーなテーマの選定

② 広域連携活動等の企画運営

・第 35 回 全国経済同友会セミナー（長崎）

・第 120 回 西日本経済同友会会員合同懇談会（徳島）

・第 14 回 日本海沿岸地域経済同友会サミット（金沢）

・第62 回関西財界セミナー（京都）

・中部との合同懇談会（神戸）

・その他政策実現のための他団体等との連携

③ 活動の発信

④ 会員増加活動の推進

⑤ 同友会活動のあり方の検討

(2) 経済動向委員会

講演会等の企画を通じ、世界の経済情勢や産業構造変化を大きな観点から捉える機会、並びにそれらが日本/地域経済に与える影響に関する学びの場を提供する。

今年度は、2023 年度事業計画を踏まえ、SDGs 達成による地域の経済成長に資する取り組みを実施。

(3) しごとづくり委員会

三年に及ぶコロナ禍や安全保障環境の変化で見えてきたものはダイバーシティの重要性です。単一領域の深耕は効率性をもたらし、成長を加速させるものの、環境変化への脆弱

性やイノベーションの停滞を包含しています。サステナビリティに直結するダイバーシティの重要性は、一企業にとどまらず地域経済や個人のスキルなど様々な領域で認識され始めています。そしてダイバーシティの非効率性を排除し、成長の機会に進化させるためには、多様な要素をうまく結びつけていくマネジメントが重要になってきます。

当委員会では地域的・業種的に多様性に富んだ経済同友会の組織を活かし、他委員会・地域部会との協力も視野に入れ、各要素をどのように結びつけていけばより経済活力が生まれるかについて研究して参ります。またその成果の本年度の提言に向けた活用も進めてまいります。

(4) まちづくり委員会

コロナ禍によるダメージも大きい中、ひょうごには大阪関西万博の開催、神戸空港の国際化など強いフォローの風も吹いています。このような状況下において、いま私たちは次世代に繋がるまちづくりを行っていかなければなりません。「ひょうご」の魅力は、他地域にない多様性であり、Diversity & Inclusion の考え方のもと、年齢、性別、国籍、障害の有無のみならず都市部と地方部が共に認め合い、それぞれの地域全体の発展に繋がる事業展開を地域部会と連携し兵庫を躍動に繋げたいと考えます。

- ・持続可能なまちづくりに関する調査研究
- ・都市部と地方部が連携し兵庫全体の地域発展に繋がるシステム構築
- ・移動革命を通した地域創生の調査研究
- ・スポーツイベントを通した地域創生の調査研究
- ・神戸・関西・伊丹3空港に関わる地域創生の調査研究

(5) ひとづくり委員会

様々な多様性を尊重し、互いの良さを生かし、掛け算による新たな価値の創造

①外国人の活躍推進

留学生も含めた外国人と会員の交流で課題の抽出と兵庫愛の醸成

②女性の活躍推進

就業支援も含めた、すべての働く女性の場の環境整備の推進

③みらいの人材の活躍推進

みらいを担う子どもたちへの地元愛の醸成、地元の企業を知る機会の創出

(6) 国際委員会

①D&I 日本国内における外国人との共生：講演会もしくは視察を想定

ダイバーシティ&インクルージョンを目指し、日本国内において外国人が活躍

し、生計を立てる道筋を探る。現状の入管制度の把握や、成功している企業の事例を研究する講演会もしくは視察を行う。

②ロシア・ウクライナ問題と世界平和:講演会もしくは在大阪ロシア領事館の訪問

2022年に軍事衝突に発展したロシア・ウクライナ問題や、広くとらえれば自由主義社会と全体主義社会の対立問題を通じ、経済への影響を研究する。条件が整えば、普段知り得ないロシア側の視点を学ぶため、在大阪ロシア領事館への訪問を行いたい。

③海外(国内)視察

「外国から見た、日本は働きたい国?!」をテーマに、円安により日本で就業する金銭的魅が下がった現在、海外から見た日本の姿を研究する。併せて、コロナ対策と経済復旧における日本と外国との違いについても研究したい。

コロナ感染症の状況次第で実施できない場合は、国内で代案を企画する。

(7) 環境インフラ整備委員会

2022年度は、ロシアによるウクライナ侵攻を背景として、エネルギー分野のインフレや各産業サプライチェーン支障が発生し、異常気象や自然災害も継続して発生する等、あらゆる変化への短期的・中期的な対策の重要性が再認識された。

こうした中で、様々な災害や事象へのレジリエンス強化及び地球環境問題を踏まえたカーボンニュートラル社会構築に向けた企業の取組について、今後起こりうるあらゆる変化への準備・対応等といった多様性及びその包摂性の視点を踏まえて調査研究し、今後の企業活動や社会貢献に資するものとする。

(8) IT 経営委員会

- ① “SDGs”達成に資する D&I のあり方をテクノロジーを基盤として考える。
- ② 「誰一人取り残さない(D&I)」を支えるデジタル・パワー事例を多く見つけ出す。

(9) SDGs推進委員会

官民連携での SDGs 推進の牽引役・調整役を担うとともに、各年度の提言を踏まえ進捗のフォローアップ等を行う。

- ・「ひょうご SDGs HUB」の取り組み深化
- ・ダイバーシティ&インクルージョンの視点で、官民連携で実効性を高めていく
- ・兵庫県、神戸市との適宜連絡会にて取り組み共有を行う
- ・その他提言のフォローアップ

(10) スタートアップ委員会

- ① 「神戸経済同友会会員のスタートアップ企業に対する関心を高める」をコンセプトとして活動を行う。
- ② 会員企業によるスタートアップ企業への関与を高め、スタートアップ企業が地域で事業参画しやすい土壤づくりを通じて、会員企業の事業再構築や新事業展開にも繋がる活動を行う。

(11) 交流委員会

会員の交流会、および他団体、各地同友会との交流会・懇親会を通じ、意思の疎通と相互啓発を務める。女性会員がより活躍しやすい環境づくりを行う。

- ① 対外交流会
 - ・120回 西日本経済同友会会員合同懇談会 (2023年11月2日～3日、徳島)
 - ・第35回 全国経済同友会セミナー (2023年4月13日～14日、長崎)
 - ・第14回 日本海沿岸地域経済同友会代表幹事サミット (2023年9月21日、22日 金沢)
 - ・中部経済同友会との合同懇談会 (2023年11月頃、神戸)
- ② 会員内研修会・懇親会・交流会
 - ・定時総会後の交流会 (2023年5月19日)
 - ・新入会員懇親会 (2024年1～2月頃を予定)
 - ・親睦ゴルフ会 (2023年10月20日)
 - ・会員懇親会 (2023年11月頃を予定)
 - ・神戸経済同友会フォーラム・交流会 (2024年2月頃を予定)
 - ・但馬、東播、西播、阪神間、丹波など各エリアの会員研修・懇親会 等

(12) 神戸空港委員会

現在、特に活動を行っていないが、将来的な3空港一体運営に向けた活動について、神戸空港利用促進協議会、並びに関係団体と連携して取り組む

(特別委員会)

2023年度 提言特別委員会

「Diversity & Inclusion で兵庫を躍動させる！」をテーマに、提言のとりまとめを目指して委員会を設置する。

(地域部会)

地域での会員の交流を深め、地域経済の振興策などの検討を行う。

(1) 東播部会

- ① 東播地域の経済情報を他部会へも発信する。
- ② 他部会との交流事業を実施する。
- ③ 東播地域グローバル人材の交流活動の実施
- ④ 会員相互の交流、情報交換を図り、地域他団体とも活発に交流する。
- ⑤ 会員増強による活性化を図る。

(2) 西播部会

- ① 西播磨地域経済人としての資質向上
 - ・講演会の開催
 - ・神戸経済同友会本部役員との研修交流会開催
 - ・会員同士の情報交換の充実
- ② 会員増強による活性化
- ③ 県民局との交流を深める。
- ④ 隣接する岡山・鳥取県経済同友会等への交流事業参加

(3) 阪神間部会

- ① 各委員会が主催する行事への積極的な参加により、会員各自の見識向上を図る。
- ② 部会内のみならず、各部会間の親睦と情報交換の充実を図り、経営の改善、地域活動の振興に寄与する。
- ③ 県民局へのヒアリングや意見交換を行い、活性化に繋げる。
- ④ 阪神間における賑わいのない商店街の防犯対策と活性化について検討を始める。

(4) 但馬部会

- ① 但馬地域の発展に寄与すべく、部会会員同士で知見を持ちより、切磋琢磨しながら交流を深めていく。
- ② 「兵庫県下全域での活動」を意識し、県下他地域との交流を促進する。
- ③ 大学・行政とのコミュニケーションを深める為の施策を検討・実施する。
- ④ 鳥取県経済同友会との交流

(5) 丹波部会

- ① 丹波・北播地域の魅力発信を通じて地域振興を図る。

- ② 部会員相互の親睦を図り、地域経済を充実させる。
- ③ 他地域部会と活発に交流し、全県一致体制の構築に寄与する。
- ④ 研修事業を通じて Diversity & Inclusion の考えを浸透させる。

(中堅会員部会)※55歳以下の会員対象

経営者としての資質向上を目指して、経営哲学をはじめとする経営に関する情報交換を進める。また、部会メンバーを講師にすることにより相互の理解を深める場も設け、さらに部会交流会を開催して和やかな雰囲気の中での会員の人的ネットワークの拡大を図る。

・経営塾「ザ・ルーム」の開催

< 会報等の発行 >

- ① 年6回の会報「神戸経済同友」発行に加え、隨時、当会の活動に関する配布等を送付する。
- ② ホームページに委員会ほか、当会活動と予定を隨時更新して掲載する。

2023年度 役員名簿

代表幹事（2名）

※ 楠木一秀 (株)神戸製鋼所 顧問
※ 井谷憲次 TOA(株) 取締役会長

※理事

副代表幹事（5名）

※ 古塚孝志 (株)ロック・フィールド 代表取締役社長
※ 永吉一郎 (株)神戸デジタル・ラボ 代表取締役
※ 佐伯里香 (株)ユーシステム 代表取締役
※ 今津由雄 今津建設(株) 取締役社長
※ 河野忠友 カワノ(株) 代表取締役社長

常務理事（1名）

※ 岩倉是広 (-社)神戸経済同友会 事務局長

会計幹事（2名）

角南忠昭 角南商事(株) 代表取締役社長
結城元紀 (株)三井住友銀行 執行役員 神戸法人営業本部長

常任幹事（40名）

赤澤秀朗 神栄(株) 代表取締役社長
東琢磨 大阪ガス(株) 理事 兵庫地区統括支配人
家次恒 シスマックス(株) 代表取締役会長 グループCEO
池田浩 三ツ星ベルト(株) 代表取締役社長 社長執行役員
伊藤紀美子 田嶋(株) 代表取締役社長
井上登志男 (株)読売DC 代表取締役
宇尾好博 (株)さわやか 代表取締役社長
大西和樹 キング醸造(株) 相談役
小野裕美 (株)ドクターミール 代表取締役
小原直人 播州建材(株) 代表取締役
神原忠明 (株)さくらケーシーエス 代表取締役社長
木谷謙介 (株)シマブンコーポレーション 代表取締役 社長執行役員
木東徳幸 三輪運輸工業(株) 代表取締役社長
木下和彦 阪神内燃機工業(株) 代表取締役社長
木下学 (株)ホテルニューアワジ 代表取締役社長
國弘正治 西日本旅客鉄道(株) 理事 近畿統括本部 兵庫支社長
桑畠純也 (株)ベネスト 代表取締役社長
坂井幸嗣 (株)アマデラスホールディングス 代表取締役
作田誠司 尼崎信用金庫 理事長
佐々木裕 関西電力送配電(株) 理事 兵庫支社長

高 梨 柳 太 郎	(株)神戸新聞社 代表取締役社長
瀧 川 高 章	兵庫トヨタ自動車(株) 代表取締役社長
武 市 寿 一	(株)みなど銀行 代表取締役社長
竜 田 博 之	日本銀行 神戸支店長
田 中 裕 子	(株)夢工房 代表取締役
辻 勝	日工(株) 代表取締役社長
寺 本 督	(株)淡路屋 代表取締役社長
中 尾 優	弁理士法人 有古特許事務所 所長(代表社員)
中 内 仁	(株)神戸ポートピアホテル 代表取締役社長
西 野 正 貢	住友ゴム工業(株) 取締役 常務執行役員
野 澤 俊 也	(株)ノザワ 代表取締役社長
橋 本 覚	(株)神戸マツダ 代表取締役社長
日 笠 秀 樹	日笠工業(株) 代表取締役社長
樋 口 浩 子	西日本電信電話(株) 兵庫支店長
細 川 勝 伸	川崎重工業(株) 執行役員 総務本部長
山 本 裕 計	アイクラフト(株) 代表取締役
山 本 吉 大	(一財)大吉財団 理事長
米 田 篤 史	(株)ジェム 代表取締役社長
和 田 剛 直	和田興産(株) 代表取締役会長
渡 辺 真 二	早駒運輸(株) 代表取締役社長

幹 事 (123 名)

(神戸地区 93 名)	○印 顧問 □印 特別幹事
○ 岩 田 弘 三	(株)ロック・フィールド 代表取締役会長
○ 尾 山 基	(株)アシックス 取締役会長
○ 國 井 総 一 郎	(株)ノーリツ 会長
○ 高 士 薫	(公社)ひょうご観光本部 理事長
○ 塚 本 晃 彦	(株)神戸製鋼所 顧問
○ 富 田 健 司	川崎重工業(株) 顧問
○ 中 尾 一 彦	神戸土地建物(株) 代表取締役会長
○ 服 部 博 明	(株)みなど銀行 取締役会長
○ 花 岡 正 浩	TC 神鋼不動産(株) 取締役会長
○ 矢 崎 和 彦	(株)フェリシモ 代表取締役社長
○ 吉 井 満 隆	バンドー化学(株) 代表取締役会長
□ 瀧 川 博 司	兵庫トヨタ自動車(株) 取締役相談役
□ 水 垣 宏 隆	エム・シーシー食品(株) 代表取締役社長
浅 木 幸 三	(株)アサキインターナショナル 代表取締役社長
阿 曾 延 晃	(株)商工組合中央金庫 神戸支店長
阿 部 泰 久	兵庫ヤクルト販売(株) 代表取締役会長
有 本 哲 也	(株)デジアラホールディングス 代表取締役会長
天 野 健 史	(株)みづほ銀行 神戸法人第二部 部長

井 植 敏 彰 塩屋土地(株) 代表取締役社長
石 垣 聰 (株)ホテルオークラ神戸 代表取締役社長 総支配人
石 丸 鐵 太 郎 神戸中央法律事務所 所長
石 光 輝 男 石光商事(株) 名誉会長
磯 陽 太 郎 (株)三菱 UFJ 銀行 神戸支店長
井 元 憲 生 (株)バリュープランニング 代表取締役社長
上 門 一 裕 山陽電気鉄道(株) 代表取締役社長
植 野 富 夫 バンドー化学(株) 代表取締役社長
大 溝 貴 史 (株)神戸製鋼所 総務・CSR 部 担当役員補佐 兼 大阪支社長
岡 澄 彦 (株)岡工務店 取締役副社長
岡 崎 忠 彦 (株)ファミリア 代表取締役社長
小 野 秀 明 (株)ラジオ関西 代表取締役社長
鍛 治 川 清 司 (株)共進ペイパー＆パッケージ 代表取締役会長
柏 木 亮 一 日本生命保険相互会社 神戸総合法人部 部長
加 藤 之 啓 (株)デンソーテン 代表取締役社長
嘉 納 健 二 白鶴酒造(株) 代表取締役社長
河 上 哲 也 (株)三井住友銀行 公共・金融法人部(神戸)部長
河 内 信 哉 川崎重工業(株) 総務本部 総務部長
木 田 聖 子 (株)チャイルドハート 代表取締役
木 下 勝 文 (株)三富商店 取締役社長
キランS・セティ (株)ジュピターインターナショナルコーポレーション 代表取締役社長
小 池 正 道 (株)三井住友銀行 専務執行役員
小 池 義 博 三輪運輸工業(株) 常務取締役 総務部長・経理担当
小 泉 康 史 小泉製麻(株) 代表取締役社長
佐 藤 幹 雄 (株)神鋼環境ソリューション 代表取締役社長
篠 崎 一 浩 篠崎倉庫(株) 代表取締役社長
篠 田 周 (株)日本総合研究所 理事 関西経済研究センター所長
清 水 泰 人 (株)シミズテック 代表取締役社長
下 垣 竜 一 郎 川崎汽船(株) 関西支店 支店長
杉 崎 聰 (株)阪急阪神百貨店 執行役員 神戸阪急店長
楣 村 岳 央 東京海上日動火災保険(株) 執行役員 兵庫本部長
須 藤 明 彦 (株)大森廻漕店 代表取締役社長
瀬戸口仁三郎 (株)築港 代表取締役社長
田 川 智 (学)高羽幼稚園 理事長
谷 口 享 子 (株)オフィスマーメイド 代表取締役
谷 村 誠 (社福)みかり会 理事長
種 橋 伯 子 サンナツツ食品(株) 専務取締役
千 布 勇 気 楽天ヴィッツセル神戸(株) 代表取締役社長
筒 井 直 子 (株)電通西日本 神戸支社長
土 井 正 孝 内外ゴム(株) 取締役社長
道 満 龍 彦 オリバーソース(株) 取締役 企画室 室長
徳 田 健 二 日本郵船(株) 関西支店長

富 田 博 文	三井住友信託銀行(株) 理事 神戸支店長
中 尾 信 也	エデュテ(株) 代表取締役
中 澤 龍 太	あいおいニッセイ同和損害保険(株) 神戸支店長
中 島 洋 人	東洋ナッツ食品(株) 代表取締役社長
中 土 忠	(株)ドンク 代表取締役 社長執行役員
中 根 義 信	スミリンケアライフ(株) 顧問
中 野 剛 志	(株)三井住友銀行 総務部 副部長
奈 良 山 貴 士	(株)ナラヤマ 代表取締役
南 部 真 知 子	(株)神戸クルーザー・コンチェルト 会長
沼 部 美 由 紀	(株)クロシエホールディングス 代表取締役
野 々 村 充 教	ウオクニ(株) 代表取締役社長
鮑 悅 初	(株)廣記商行 取締役会長
橋 本 玲 子	(株)TD・K 取締役会長
濱 浩 一	東光碍子(株) 取締役社長
広瀬 努	広瀬化学薬品(株) 取締役会長
廣 田 康 人	(株)アシックス 代表取締役社長 CEO 兼 COO
福 井 正 一	フジツコ(株) 代表取締役社長 執行役員
藤 井 生 也	(株)みなど銀行 専務執行役員
北 條 憲 司	富士通 Japan(株) 兵庫支社長
松 田 幸 治	(株)マニックス 代表取締役社長
松 原 亜 希 子	(株)大丸松坂屋百貨店 執行役員 大丸神戸店長
松 本 由 美 子	(株)フェニックス商会 代表取締役
三 木 谷 研 一	楽天ヴィッツセル神戸(株) 副会長
御 澤 賢 一 郎	三菱UFJ信託銀行(株) 神戸支店長
三 宅 宏 和	六甲バター(株) 代表取締役会長
棟 方 成 和	第一生命保険(株) 神戸総合支社長
村 上 豪 英	(株)村上工務店 代表取締役社長
森 本 真 弥	森本倉庫(株) 代表取締役社長
両 角 元 寿	(株)MORESCO 代表取締役社長
安 福 武 之 助	(株)神戸酒心館 代表取締役社長
山 口 信 二	モロゾフ(株) 代表取締役社長
山 本 俊 一	(有)山本ビル 代表取締役社長
山 本 博 史	日清鋼業(株) 代表取締役社長

(東播地区8名)

□ 丸 山 恵 右	丸山印刷(株) 代表取締役社長
岡 田 紹 宏	(株)高階 代表取締役社長
岡 田 義 則	(株)加古川製作所 代表取締役
桑 田 純 一 郎	但陽信用金庫 理事長
芝 本 忠 雄	(株)SIC 代表取締役
仲 上 常 幸	(株)不動産流通センター 代表取締役社長

長谷川吉弘 ハリマ化成(株) 代表取締役社長
福島孝一 (株)ソネット 取締役会長

(西播地区 13 名)

□ 岡田兼明	大和産業(株) 代表取締役社長
□ 長谷川雄三	ヤエガキ醸酵技研(株) 取締役会長
赤鹿竜夫	(株)赤鹿建設 代表取締役
淺井昌信	ヒガシマル醤油(株) 代表取締役会長
石黒智生	(株)三井住友銀行 姫路法人営業部長
大西敦	(株)ヤカグループ 代表取締役社長
尾上広和	グローリー(株) 代表取締役会長
佐和吉敬	佐和鍍金工業(株) 代表取締役社長
園田和彦	兵庫信用金庫 理事長
長尾真	神姫バス(株) 代表取締役社長
中林康	(株)広築 代表取締役社長
三宅知行	姫路信用金庫 理事長
桃井一光	桃井製網(株) 代表取締役社長

(阪神地区 6 名)

笠谷泰宏	(株)笠谷工務店 代表取締役社長
高橋和也	極東開発工業(株) 代表取締役会長
藤嶋純子	(株)フジ・データ・システム 代表取締役
古野幸男	古野電気(株) 代表取締役 社長執行役員 兼 CEO
森本直樹	日本盛(株) 代表取締役会長
山村幸治	日本山村硝子(株) 代表取締役 社長執行役員

(但馬地区 2 名)

倉橋建	(株)但馬銀行 専務取締役
中田孝一	中田工芸(株) 取締役会長

(丹波地区 1 名)

吉住俊一	(株)吉住工務店 代表取締役会長
------	------------------

2023年度活動組織

(敬称略・順不同)

1.代表幹事	榎木 一秀 (神戸製鋼所) 井谷 憲次 (TOA)	
2.副代表幹事	古塚 孝志 (ロック・フィールド) 永吉 一郎 (神戸デジタル・ラボ) 佐伯 里香 (ユーシステム) 今津 由雄 (今津建設) 河野 忠友 (カワノ)	
3.常務理事	1名	
4.会計幹事	2名	
5.常任幹事	40名	
6.幹事	123名	
7.委員会		
(1)常設委員会	委員長	副委員長
①総務委員会	榎木 一秀 (神戸製鋼所)	井谷 憲次 (TOA)
②企画委員会	榎木 一秀 (神戸製鋼所)	井谷 憲次 (TOA)
③経済動向委員会	柏木 亮一 (日本生命保険)	竜田 博之 (日本銀行) 徳田 健二 (日本郵船) 梶村 岳央 (東京海上日動火災保険) 松原亜希子 (大丸松坂屋百貨店) 御澤賢一郎 (三菱UFJ信託銀行) 森田 芳郎 (野村證券)
④しごとづくり委員会	坂井 幸嗣 (アマデラスホールディングス)	有本 哲也 (デジアラホールディングス) 大井 大輔 (日本FBMコンサルティング) 中西健太郎 (TMI総合法律事務所) 川村 佳子 (カワムラ ピフテキのかワムラ) 民輪 一博 (K.S.ロジャース)
⑤まちづくり委員会	木下 学 (ホテルニューアワジ)	小田垣 昇 (小田垣商店) 笠谷 泰宏 (笠谷工務店) 道満 龍彦 (オリバーソース) 原田 啓行 (関西ハウス工業) 星加 ルリコ (RURIKO PLANNING)

	委員長	副委員長
⑥ひとづくり委員会	木田 聖子 (チャイルドハート)	中内 仁 (神戸ポートピアホテル) 小野 裕美 (ドクターミール) 山本 吉大 (大吉財団) 福居 洋美 (コガセ工業)
⑦国際委員会	山本 裕計 (アイクラフト)	磯 陽太郎 (三菱 UFJ 銀行) 沼部美由紀 (クロシェホールディングス) 平井 大介 (水登社) 竹田 典高 (まねき食品) 川村 佳子 (カワムラ ピフテキのカワムラ)
⑧環境インフラ整備委員会	佐々木 裕 (関西電力送配電)	東 琢 (大阪ガス) 國弘 正治 (西日本旅客鉄道) 藤原 大輔 (関西エアポート神戸) 西村 公秀 (神戸トヨペット)
⑨IT経営委員会	永吉 一郎 (神戸デジタル・ラボ)	藤嶋 純子 (フジ・データ・システム) 本丸 勝也 (兵庫ベンダ工業) 田中 裕子 (夢工房) 和田 剛直 (和田興産)
⑩SDGs推進委員会	古塚 孝志 (ロック・フィールド)	渡辺 真二 (早駒運輸) 安福武之助 (神戸酒心館)
⑪スタートアップ委員会	武市 寿一 (みなど銀行)	有本 哲也 (デジアラホールディングス) 沼部美由紀 (クロシェホールディングス) 乾 正博 (シン・エナジー)
⑫交流委員会	安福武之助 (神戸酒心館)	米田 篤史 (ジェム) 和田 剛直 (和田興産) 近藤 弘人 (メットライフ生命保険) 松本由美子 (フェニックス商会) 渡邊 江美 (マキシン)
⑬神戸空港委員会	榎木 一秀 (神戸製鋼所)	永吉 一郎 (神戸デジタル・ラボ)
(3)特別委員会	委 員 長	副 委 員 長
提言特別委員会	佐伯 里香 (ユーシステム)	東 琢 (大阪ガス) 日笠 秀樹 (日笠工業) 和田 剛直 (和田興産) 笠谷 泰宏 (笠谷工務店)

(1)地域部会	部 会 長	副部会長
①東播部会	福島 孝一 (ソネック)	芝本 忠雄 (SIC) 岡田 義則 (加古川製作所)
②西播部会	井上登志男 (読売DC)	小原 直人 (播州建材) 赤鹿 竜夫 (赤鹿建設)
③阪神間部会	古野 幸男 (古野電気)	森本 直樹 (日本盛) 藤嶋 純子 (フジ・データ・システム)
④但馬部会	倉橋 建 (但馬銀行)	中田 孝一 (中田工芸) 中川 和久 (中川工務店)
⑤丹波部会	吉住 俊一 (吉住工務店)	篠倉 庸良 (ささめ針) 小田垣 昇 (小田垣商店) 小澤 國秀 (ozawa)
(2)中堅会員部会	部 会 長	副部会長
経営塾「ザ・ルーム」	山本 吉大 (大吉財団)	岡田 紹宏 (高階) 松田 幸治 (マニックス) 松本由美子 (フェニックス商会) 濱田賢太郎 (浜田工務店)

2023年度 主要事業スケジュール

事業名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
定時総会		19(金)										
理事会(定例)	21(金)	12(金)	9(金)	14(金)	休会	8(金)	13(金)	10(金)	8(金)	12(金)	16(金)	8(金)
常任幹事会・幹事会	21(金)	12(金)	9(金)	14(金)	休会	8(金)	13(金)	10(金)	8(金)	12(金)	16(金)	8(金)
総務委員会・理事会	21(金)	12(金)	9(金)	14(金)	休会	8(金)	13(金)	10(金)	8(金)	12(金)	16(金)	8(金)
特別講演会・会員懇談会		12(金)			○			○				
神戸経済同友会オーラム										○		
全国経済同友会セミナー(長崎)	13(木)											
西日本経済同友会合同懇談会(徳島)							2(木)					
日本海沿岸代表幹事サミット(金沢)						21(木)						
関西財界セミナー								○				
中部との合同懇談会(神戸開催)												○
鳥取県経済同友会との交流会(但馬部会)												
西日本経済同友会 代表者会議(鳥取)				25(火)								
全国経済同友会 代表幹事円卓会議(奈良)								6(月)				
全国経済同友会 事務局長会議								○				
新入会員懇談会						○						
提言特別委員会	11(火)	9(火)	6(火)	4(火)	8(火)	5(火)	10(火)	7(火)	5(火)			
常設委員会										随時開催		
中堅会員部会(ザ・ルーム)										随時開催		
地域部会(東播・西播・阪神間・但馬・丹波)										随時開催		
親睦ゴルフ会										20(金)		

(報告事項)2. 2023年度 収支予算の件

2023年度 収支予算書
2023年4月1日から2024年3月31日まで

科 目	A 2023年度予算額(a)	B 2022年度予算額(b)	C 増減 (a)-(b)	備考
I 事業活動収支の部				
1. 事業活動収入				
①入会金収入				
入会金収入	600,000	600,000	0	新規入会
交代入会金収入	300,000	300,000	0	交代入会
②会費収入				
正会員会費収入	44,340,000	42,880,000	1,460,000	550名×80,000
準会員会費収入	400,000	300,000	100,000	20名×20,000
賛助金収入	9,970,000	10,000,000	△ 30,000	
③負担金収入				
負担金収入	10,200,000	10,200,000	0	
④雑収入				
受取利息収入	700	700	0	
雑収入	0	0	0	
事業活動収入計	65,810,700	64,280,700	1,530,000	
2. 事業活動支出				
①事業費支出				
給料手当支出	15,800,000	15,600,000	200,000	
福利厚生費支出	2,400,000	2,200,000	200,000	
修繕費支出	400,000	300,000	100,000	ホームページ更新等
印刷製本費支出	3,500,000	3,500,000	0	会報・封筒
消耗品費支出	600,000	500,000	100,000	
旅費交通費支出	2,500,000	1,500,000	1,000,000	
租税公課支出	0	0	0	
通信運搬費支出	1,000,000	800,000	200,000	郵送代・電話・インターネット
資料費支出	150,000	150,000	0	
会議費支出	7,000,000	9,000,000	△ 2,000,000	コロナ前の水準へ戻す
事務所費支出	1,560,000	1,400,000	160,000	
リース料支出	438,000	320,000	118,000	
諸謝金支出	2,500,000	2,500,000	0	
減価償却支出	626,823	230,547	396,276	
負担金支出	9,800,000	9,200,000	600,000	
委託費支出	400,000	400,000	0	西播・東播委託分
雑費支出	500,000	10,000	490,000	
事業費支出計	(49,174,823)	(47,610,547)	(1,564,276)	
②管理費支出				
給料手当支出	2,850,000	2,800,000	50,000	
福利厚生費支出	300,000	260,000	40,000	
修繕費支出	600,000	561,000	39,000	PC保守・会員システム保守
印刷製本費支出	1,050,000	1,050,000	0	総会資料・要覧
消耗品費支出	600,000	300,000	300,000	
旅費交通費支出	150,000	150,000	0	
租税公課支出	50,000	50,000	0	
通信運搬費支出	300,000	300,000	0	
資料費支出	0	0	0	
会議費支出	7,000,000	8,500,000	△ 1,500,000	総会・常任幹事会
事務所費支出	1,560,000	1,400,000	160,000	
リース料支出	109,200	80,000	29,200	
諸謝金支出	400,000	400,000	0	総会講師
減価償却支出	626,823	230,546	396,277	
負担金支出	0	0	0	
委託費支出	0	0	0	
雑費支出	650,000	400,000	250,000	
管理費支出計	(16,246,023)	(16,481,546)	(-235,523)	
③予備費支出				
事業活動支出計	65,520,846	64,192,093	1,328,753	
事業活動収支差額	289,854	88,607	201,247	
II 投資活動収支の部				
積立預金取崩収入	0	0	0	
積立預金繰入支出	0	0	0	
投資活動収支差額	0	0	0	
当期収支差額	289,854	88,607	201,247	